

神奈川県古墳(Ⅸ)

—神奈川県古墳地名表(7)—

稲村 繁*

Tumuli of Kanagawa Prefecture(Ⅸ)

— List of Tumuli in Kanagawa Prefecture(7)—

Shigeru INAMURA

About 850 tumuli located in Kanagawa Prefecture have been recognized up to now. In comparison with tumuli in the more known areas, like Gunma Prefecture and Chiba Prefecture in the same Kanto Region, not only the total number of the tumulus, but also the both numbers of the tumulus built in the early through the middle period and larger-scale tumuli are less in Kanagawa Prefecture. Furthermore, what is pointed out as another regional feature in Kanagawa is tumuli are less in the coastal area, but are more in the inland areas centering on the piedmont area of Mt. Tanzawa.

This paper is intended to compile data of the tumuli into a list and to explain the tumuli in Kanagawa Prefecture. However, as the total number of the tumuli in the prefecture is still large, the whole prefecture area is divided into several areas. This Part(7) lists up and explains the tumuli in East area of Atugi City.

神奈川県内では現在までのところ 850 基ほどの古墳が確認されている。同じ関東地方内でも群馬県・千葉県など有力な地域と比較すると、基数ばかりでなく前期～中期の古墳、大形墳などいずれにおいても築造数が少ない。また、沿岸部には高塚墳が少なく、丹沢山麓を中心とした内陸部に多く分布するのが地域的特徴としてあげられる。

本稿ではこれら神奈川県内の古墳について集成をおこなうが、基数が多いためいくつかの地域にわけることとし、今回は厚木市の東部域をとりあげる。内容については以下の凡例に従うが、特記事項がある場合には備考欄に記した。

* 横須賀市自然・人文博物館 Yokosuka City Museum, Yokosuka, 238-0016 Japan.
原稿受付 2018 年 8 月 11 日 横須賀市博物館業績 第 734 号
Key Words: Tumuli, Kanagawa Prefecture, Atugi City
キーワード: 古墳, 神奈川県, 厚木市

凡 例

[群]古墳群名	[副]副葬品の品目
[所]所在地	[伴]伴出品の品目
[立]立地	[埴]埴輪の有無と種類
[形]墳形	[時]築造時期
[周]周溝の有無	[文]参考文献
[規]墳丘規模	[備]備考
[埋]埋葬施設の種類	

- * 1 古墳の別称は()内に記した。また、下段には厚木高校歴史研究部1960での名称を[]で、厚木市教育委員会1976での名称をく >で、厚木市文化財協会1998での名称を()で併記した。
- * 2 古墳と確認されていないが、埋葬施設や副葬品・埴輪などの出土遺物、あるいは墳丘の現状からその可能性が高いものについては、古墳名のあとに*印を付した。
- * 3 [群]群名のあとの()内数字は、確認された古墳の基数。また、群を構成するものの古墳群名がないものについては単に古墳群とした。
- * 4 [周]墳丘を巡らず、丘陵を切断する溝のみがみられる場合は区画溝とした。
- * 5 [規]は周溝を含まない墳丘の規模。()内数字は現状での規模、推は推定規模。このなかで径は直径、長は全長、後径は後円部直径、前長は前方部長、辺は一辺の長さ、高は高さを指す。
- * 6 [伴]では、古墳に関する遺物のうち横穴式石室の前庭部出土を(前庭)、周溝内出土を(周溝)、区画溝内出土を(区画)、周溝・区画溝以外の墳丘裾部出土を(墳裾)、墳頂部出土を(墳頂)、墳丘面出土を(墳面)、墳丘内出土を(墳内)、墳丘内墓壙上面出土を(壙上)、墳丘下旧表土面出土を(墳下)として末尾に記した。
- * 7 [時]については、早期・前期・中期・後期・終末期の5区分としたが、早期はおおむね3世紀後半代、前期は4世紀代、中期は5世紀代、後期は5世紀末葉～6世紀代、終末期は7世紀代～8世紀初頭である。時期決定にあたってはおもに埴輪の川西宏幸編年(川西宏幸1978)、須恵器の田辺昭三編年(田辺昭三1981)などを参考としたが、これによってさらに時期の

特定が可能なものについては初頭・前葉・中葉・後葉・末葉，または前半・後半などを()内に記した。

- * 8 調査はおこなわれているものの，未報告のため詳細が不明な項目については不詳とした。なお，報告書が刊行され次第追補をおこなう。
- * 9 すでに集成が完了した地域での新規登録や，内容の追加・修正は補遺として巻末に付す。

厚 木 市 (3-2)

岡津古久古墳 (535) おかつこくこふん [群]

<T-37>・(愛甲地区1号墳)

[所]厚木市小野字千騎谷269 [立]丘陵端 [形]橢円形墳 [周]なし [規]径5×7m [埋]横穴式石室(長4.5m)・第1割竹形木棺直葬(現存長2.13[復元棺長4.4m])・第2割竹形木棺直葬(長4.8m) [副]横穴式石室：直刀1，刀子2，鉄鐙2，鉄鏃 第1木棺直葬：仿製二神二獣鏡1，刀子1，滑石製勾玉9・白玉86 第2木棺直葬：鉄剣1，鏃1 [伴]なし [埴]なし [時]木棺直葬：中期前半・横穴式石室：終末期 [文]樋口清之ほか1974，厚木市教育委員会1976，神奈川県1979，厚木市文化財協会1998，厚木市市史編さん室1998 [備]昭和49年國學院大学調査。石室は半地下式で，奥壁2段積み・羨門大形立石なし。前庭部直線先端外反で側壁石積みなし。第2割竹形木棺では東端より2mの棺床面に径33cm・深さ25cmの石詰めピットあり。木棺直葬は第1→第2の順で埋葬。

お屋敷添遺跡第3地点(No.1)第1号墳 (536) おやしきぞえいせきだい3ちてん(No.1)だい1ごうふん [群]

(愛甲地区2号墳)

[所]厚木市愛甲字お屋敷添 [立]台地上 [形]方墳？ [周]有り [規]辺約20m [埋]不明 [副]不明 [伴]滑石製模造品(剣形品)，土師器高坏・碗・壺・甕 [埴]なし [時]中期後半？ [文]西川修一ほか1998，厚木市文化財協会1998 [備]古墳の周溝跡と思われる。

堂山古墳 (537) どうやまこふん [群]

<N-34>・(愛甲地区3号墳)

[所]厚木市愛甲字堂山560～570 [立]台地上 [形]円墳？ [周]不明 [規]径(25m以上) [埋]礫床 [副]ガラス丸玉10 [伴]須恵器片，土師器片，五輪塔(埴面) [埴]不明 [時]中期～後期 [文]厚木高校歴史研究部1967b，厚木市教育委員会1976，厚木市市史編さん室1998，厚木市文化財協会1998 [備]葺石あり。1966年の調査後消滅。周溝部は未調査のまま消滅。土器片は共伴か不

明.

古墳* (538) こふん [群]

(愛甲地区4号墳)

[所]厚木市愛甲字宮添736付近 [立]台地端 [形]不明 [周]不明 [規]不明
[埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協
会1998 [備]現状は石垣で囲まれているが、かつては塚状を呈していたとされ
る.

古墳* (539) こふん [群]

(愛甲地区10号墳)

[所]厚木市愛甲字宮添733~736 [立]台地端 [形]不明 [周]不明 [規]不明
[埋]横穴式石室 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]井上隆之
1971, 厚木市文化財協会1998 [備]消滅. かつては大きな天井石や石組みが露
出していたとされる.

**愛甲宿遺跡第3号・第5号溝 (540) あいこうしゅくいせきだい3ごう・だい
5ごうみぞ [群]**

(愛甲地区5号墳)

[所]厚木市愛甲字宿1062 [立]台地上 [形]円墳? [周]有り [規]径約13m
[埋]不明 [副]不明 [伴]土師器(周溝) [埴]なし [時]前期? [文]江藤
昭ほか1989, 厚木市文化財協会1998 [備]東側のSD03(第3号溝)と西側のSD05
(第5号溝)をあわせるとひとつの古墳跡となる(南側はブリッジか?).

**愛甲大塚古墳(石田車塚古墳) (541) あいこうおおつかこふん (いしだくる
まづかこふん) [群]**

(愛甲地区6号墳)

[所]厚木市愛甲字宿1070(後円部)・伊勢原市石田(前方部) [立]台地端 [形]
前方後円墳 [周]有り [規]長(約80~90m)・後径(約45m) [埋]不明 [副]
不明 [伴]土師器(前方部周溝) [埴]不明 [時]前期 [文]石野瑛1926, 望月
幹夫1987, 立花実1998, 厚木市文化財協会1998 [備]前方部(伊勢原市)はほと
んど削平. 後円部墳頂で柳葉形鉄鏃が採集されている.

古墳* (542) こふん [群]

(厚木・相川地区1号墳)

[所]厚木市旭町 [立]自然堤防上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明
[副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976,
厚木市文化財協会1998 [備]1998年以前に消滅か.

**川田前遺跡円形周溝状遺構 (543) かわだまえいせきえんけいしゅうこうじょ
ういこう [群]**

(厚木・相川地区2号墳)

[所]厚木市旭町2-1261 [立]自然堤防上 [形]円墳 [周]有り [規]径26.0×25.2m [埋]不明 [副]不明 [伴]土師器小片(周溝) [埴]なし [時]不明
[文]瀬田哲夫1998, 厚木市文化財協会1998 [備]古墳跡(南東にブリッジ).
温水高坪遺跡群第3地点(544)ぬるみずたかつぼいせきぐんだい3ちてん
[群]

(長谷地区1号墳)

[所]厚木市毛利台1 [立]丘陵端 [形]方墳? [周]有り [規]辺約25×20m
[埋]木棺直葬 [副]鉄剣1, 直刀1, 鉾身1, 石突1, 鉄鏃23 [伴]土師器壺2
(墳丘～周溝) [埴]なし [時]中期末葉 [文]温水高坪遺跡調査団1996, 厚木
市文化財協会1998 [備]鉄鏃は, 頸部有腸袂片丸式長頸鏃.

宮の里遺跡1号墳(545)みやのさといせき1ごうふん [群]宮の里遺跡

(長谷地区3号墳)

[所]厚木市船子字宮の里1565-2他 [立]丘陵緩斜面 [形]円墳 [周]有り
[規]径22.5m [埋]不明 [副]不明 [伴]須恵器器台・壺・はそう・坏蓋・高
坏, 土師器坏(周溝) [埴]なし [時]後期初頭 [文]浅川利一ほか1988, 迫和
幸ほか2005, 厚木市文化財協会1998 [備]東西にブリッジを持つ古墳跡. 須恵
器はMT15型式並行期.

宮の里遺跡2号墳(546)みやのさといせき2ごうふん [群]宮の里遺跡

(長谷地区4号墳)

[所]厚木市船子字宮の里1565-2他 [立]丘陵緩斜面 [形]円墳 [周]有り
[規]径約18m [埋]不明 [副]不明 [伴]土師器坏(周溝) [埴]なし [時]後
期前半 [文]浅川利一ほか1988, 迫和幸ほか2005, 厚木市文化財協会1998
[備]西側にブリッジを持つ古墳跡. 周溝の南側は崩落により失われている.

地頭山古墳(547)じとうやまこふん [群]

(長谷地区5号墳)

[所]厚木市船子字宮前1180付近 [立]尾根端 [形]前方後円墳 [周]不明
[規]長約72m・後径約36m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]
前期? [文]久保哲三ほか1983, 望月幹夫1987, 厚木市文化財協会1998 [備]
1978年に測量調査. 現存.

古墳*(548)こふん [群]

(長谷地区6号墳)

[所]厚木市長谷字清水1210付近 [立]丘陵頂部 [形]不明 [周]不明 [規]伝
径10m以上 [埋]不明 [副](伝)玉類多数 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木市文化財協会1998 [備]1980年頃耕地拡張のため削平されたが, その

際多数の玉類が出土したとされるが、遺物は現存しない。

古墳* (549) こふん [群]

〈N-29〉・(長谷地区2号墳)

[所]厚木市温水字赤羽根330 [立]丘陵緩斜面 [形]円墳? [周]不明 [規]径約6m(1975年当時) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]昭和40年頃以降に未調査のまま消滅。

温水長久保遺跡群第2地区1号墳 (550) ぬるみずながくぼいせきぐんだい2ちく1ごうふん [群]温水長久保遺跡群
(長谷地区10号墳)

[所]厚木市温水799ほか [立]丘陵緩斜面 [形]円墳 [周]有り [規]径約14m [埋]不明 [副]不明 [伴]土師器坏1(周溝) [埴]なし [時]終末期前半
[文]厚木市文化財協会1998, 迫和幸ほか2003 [備]西にブリッジを持つ古墳跡(北西半の周溝のみ検出)。

温水長久保遺跡群第8地区1号墳 (551) ぬるみずながくぼいせきぐんだい8ちく1ごうふん [群]温水長久保遺跡群
(長谷地区9号墳)

[所]厚木市温水799ほか [立]丘陵緩斜面 [形]円墳 [周]有り [規]径約10m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]なし [時]不明 [文]厚木市文化財協会1998, 迫和幸ほか2003 [備]古墳跡(東側約1/3の周溝検出)。

ハウダイヤモンド遺跡1号墳 (552) ほうだいやまいせき1ごうふん [群]温水長久保遺跡群

[所]厚木市温水字長久保381ほか [立]丘陵上 [形]前方後円墳 [周]有り [規]長約65m・後径約35m [埋]不明 [副]不明 [伴]土師器器台・埴(周溝)
[埴]底部穿孔壺形埴輪 [時]前期後半 [文]平本元一1999, 迫和幸ほか2003 [備]温水長久保遺跡群第9地区。古墳跡(周溝のみ検出：後円部東側は未検出)。

ハウダイヤモンド遺跡2号墳 (553) ほうだいやまいせき2ごうふん [群]温水長久保遺跡群

[所]厚木市温水字長久保381ほか [立]丘陵上 [形]円墳 [周]有り [規]径約14m [埋]不明 [副]不明 [伴]土師器壺(周溝) [埴]なし [時]不明
[文]平本元一1999, 迫和幸ほか2003 [備]温水長久保遺跡群第9地区。古墳跡(東側の周溝のみ検出：西側は未調査)。

古墳* (554) こふん [群]

(依知地区1号墳)

[所]厚木市上依知字外記林 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(7.0×6.7m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会1998 [備]河原石散乱. 俗称形(刑)部塚(稻荷社を祀る).

上依知1号墳(555) かみえち1ごうふん [群]上依知古墳群
<E-3>?・(依知地区5号墳)

[所]厚木市上依知字八幡ヶ谷戸 [立]段丘上 [形]円墳 [周]有り [規]径約23m [埋]横穴式石室(長5.15m) [副]勾玉25, 切子玉8, 丸玉22, 白玉4, 小玉312, 金環3, 六鈴釧1, 銅釧4, 直刀4, 無窓鏝2, 刀子2, 鉄鏃40, 附金具4, 叉状鉄器1 [伴]須恵器甕・平瓶・フラスコ瓶・坏, 土師器坏(前庭前周溝) [埴]なし [時]終末期前葉 [文]厚木市教育委員会1976, 神奈川県教育委員会1977, 厚木市市史編さん室1993, 厚木市文化財協会1998 [備]石室は半地下式で, 無袖河原石積み. 羨門部に大形立石なく, 前庭部は石積みなく直線的溝状. 須恵器坏はTK217型式並行期.

上依知2号墳(556) かみえち2ごうふん [群]上依知古墳群
<E-3>?・(依知地区7号墳)

[所]厚木市上依知字八幡ヶ谷戸 [立]段丘上 [形]円墳 [周]有り [規]径約20m [埋]横穴式石室(長4.77m) [副]なし [伴]土師器坏1(羨門部閉塞石内), 土師器坏1(前庭) [埴]なし [時]不明 [文]厚木市教育委員会1976, 神奈川県教育委員会1977, 厚木市市史編さん室1993, 厚木市文化財協会1998 [備]石室は河原石積みで. わずかに胴張りの無袖式.

上依知3号墳(557) かみえち3ごうふん [群]上依知古墳群
<E-3>?・(依知地区8号墳)

[所]厚木市上依知字八幡ヶ谷戸 [立]段丘上 [形]円墳 [周]有り [規]径約20~23m [埋]横穴式石室(幅1.0m) [副]管玉2, 丸玉・白玉・小玉, 耳環7, 無窓鏝1, 鞘尻金具1, 刀子1, 須恵器碗1 [伴]なし [埴]なし [時]不明 [文]厚木市教育委員会1976, 神奈川県教育委員会1977, 厚木市市史編さん室1993, 厚木市文化財協会1998 [備]河原石積みの玄室部分のみ調査.

古墳* (558) こふん [群]上依知古墳群
(依知地区6号墳)

[所]厚木市上依知字八幡ヶ谷戸 [立]段丘上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会1998 [備]詳細不明のまま消滅.

古墳* (559) こふん [群]上依知古墳群
<E-4>・(依知地区9号墳)

[所]厚木市上依知字八幡ヶ谷戸 [立]段丘上 [形]不明 [周]不明 [規]径

(9.3×7.0m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]須恵器甕片採集(墳面)
[埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998
[備]自然石多量に散乱.

古墳* (560) こふん [群]上依知古墳群
(依知地区10号墳)

[所]厚木市上依知字八幡ヶ谷戸 [立]段丘上 [形]不明 [周]不明 [規]径
(2.0m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]大形の自然石露頭.

古墳* (561) こふん [群]上依知古墳群
(依知地区11号墳)

[所]厚木市上依知字一本松 [立]段丘上 [形]不明 [周]不明 [規]不明
[埋]不明 [副]直刀 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会
1998 [備]大正末年頃に直刀が出土し, その後消滅.

古墳* (562) こふん [群]上依知古墳群
<E-5>・(依知地区12号墳)

[所]厚木市上依知字一本松 [立]段丘上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(13.
1×5.7m) [埋]不明 [副]不明 [伴]須恵器甕片採集(墳面) [埴]不明
[時]不明 [文]厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]自然石が
点在.

古墳* (563) こふん [群]山際古墳群
<E-12>・(依知地区13号墳)

[所]厚木市山際字山ノ根原950付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明
[規]径(9.0×7.0m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木市教育委員会1976, 厚木市市史編さん室1993, 厚木市文化
財協会1998 [備]自然石一部露出.

山際堀付古墳 (564) やまぎわほりつきこふん [群]山際古墳群
<E-13>・(依知地区14号墳)

[所]厚木市山際字堀付958付近 [立]段丘端 [形]円墳 [周]有り [規]径12
m [埋]横穴式石室(玄室長3.1m) [副]勾玉3, 管玉4, 切子玉2, 丸玉・小玉
群, 耳鐙5, 鉄鏃群, 刀子1 [伴]須恵器平瓶, 土師器坏(前庭部正面周溝)
[埴]なし [時]終末期中葉 [文]厚木市教育委員会1976, 厚木市市史編さん室
1993, 厚木市文化財協会1998 [備]1972年造成工事に伴い発掘調査後消滅. 石
室は半地下式で, 無袖河原石積み. 須恵器平瓶はTK217~46型式並行期.

古墳* (565) こふん [群]山際古墳群
<E-19>・(依知地区15号墳)

[所]厚木市山際字中平1063付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径
(7.5×5.9m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚
木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]未調査のまま宅地化により
消滅.

古墳* (566) こふん [群]長坂古墳群
[長坂-f]・(依知地区19号墳)
[所]厚木市関口字山ノ根1022付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]不
明 [埋]不明 [副]玉類, 直刀6 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木
高校歴史研究部1960, 瀬田哲夫1998, 厚木市文化財協会1998 [備]厚木高校19
60によれば, 1930年前後に発掘. 遺物は当初長坂所在の小祠(依知地区21号墳)
に奉納されていたが, 後に厚木高校歴史研究部の所蔵となる(出土遺物の保管
経緯については瀬田哲夫1998参照).

古墳* (567) こふん [群]長坂古墳群
[長坂-e]・<E-25>・(依知地区20号墳)
[所]厚木市関口字山ノ根1024付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(26.5×21.0m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化
財協会1998 [備]宅地造成により未調査のまま消滅.

古墳* (568) こふん [群]長坂古墳群
[長坂-d]・<E-26>・(依知地区21号墳)
[所]厚木市関口字長坂1111付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径
(12.0×10.5m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化
財協会1998 [備]墳頂に祠あり. 墳頂下部に大形石露出.

古墳* (569) こふん [群]長坂古墳群
(依知地区22号墳)
[所]厚木市関口字中原311付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径
(3.8×2.0m) [埋]横穴式石室? [副]刀(直刀)? [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]瀬田哲夫1998, 厚木市文化財協会1998 [備]自然石多数露出.
かつて刀(直刀?)出土の伝えあり.

古墳* (570) こふん [群]長坂古墳群
<E-27>・(依知地区23号墳)
[所]厚木市関口字中原310付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径
(8.0×6.0m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]墳頂に祠あり. 自

然石多数露出。

古墳* (571) こふん [群]長坂古墳群
[長坂－b]・〈E－28〉・(依知地区24号墳)
[所]厚木市関口字中原304付近(長坂老人憩の家敷地内) [立]段丘端 [形]円墳?
[周]不明 [規]径(10.3×8.8m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明
[埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]墳頂に祠あり。自然石多数露出。

古墳* (572) こふん [群]長坂古墳群
[長坂－a]・〈E－29〉・(依知地区25号墳)
[所]厚木市関口字寺道附1121付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(7.2×5.6m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]自然石散乱。

古墳* (573) こふん [群]長坂古墳群
(依知地区26号墳)
[所]厚木市関口字寺道附1121付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(7.0×3.6m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]自然石散乱。

古墳* (574) こふん [群]長坂古墳群
(依知地区27号墳)
[所]厚木市関口字寺道附296付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(13.2×8.7m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木市文化財協会1998 [備]大形の自然石多数露出。

古墳* (575) こふん [群]長坂古墳群
〈E－30〉・(依知地区28号墳)
[所]厚木市関口字寺道附272付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(8.4×4.9m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]

古墳* (576) こふん [群]長坂古墳群
[長坂－7]・(依知地区29号墳)
[所]厚木市関口字寺道附257付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(30.0×20.0m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]厚木高

校1960には南北30.0m、東西20.0m、高さ7.0mとあり、掘ったら火山灰が出たと伝えられている。

古墳* (577) こふん [群]長坂古墳群
<E-31>・(依知地区30号墳)

[所]厚木市関口字萩原206付近 [立]段丘端 [形]方墳? [周]不明 [規]径(10.0×10.0m[1975年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]1975年当時は方墳状を呈していた。

古墳* (578) こふん [群]中依知古墳群
[下河原-f]・(依知地区31号墳)

[所]厚木市関口字下古河1147付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(5.0×4.5m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]消滅。

古墳* (579) こふん [群]中依知古墳群
[下河原-a]・<E-34>・(依知地区32号墳)

[所]厚木市関口字下古河124付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(17.6×14.2m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]消滅。聞き取りによれば、富士山の火山灰の塚という人とかつて掘ったときに釧状の遺物が出土したという人あり。

古墳* (580) こふん [群]中依知古墳群
(依知地区33号墳)

[所]厚木市関口字下古河123付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会1998 [備]大形の自然石多数露出。

古墳* (581) こふん [群]中依知古墳群
<E-35>・(依知地区34号墳)

[所]厚木市中依知字林添10付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]消滅。詳細不明。

古墳* (582) こふん [群]中依知古墳群
[原-z]・<E-36>・(依知地区35号墳)

[所]厚木市中依知字林添12付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(9.8×5.5m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会19

98 [備]自然石がわずかに露出。

古墳* (583) こふん [群]中依知古墳群
(依知地区36号墳)

[所]厚木市中依知字林添15付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(4.0×1.7m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚
木市文化財協会1998 [備]自然石複数露出。

古墳* (584) こふん [群]中依知古墳群
(依知地区37号墳)

[所]厚木市中依知字林添15付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(5.7×2.0m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木市文化財協会1998 [備]大形の自然石多数露出。

古墳* (585) こふん [群]中依知古墳群
(依知地区38号墳)

[所]厚木市中依知字林添18付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径
(9.4×6.4m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚
木市文化財協会1998 [備]

古墳* (586) こふん [群]中依知古墳群
[原-y]・〈E-114〉・(依知地区39号墳)

[所]厚木市中依知字林添21付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(7.3×2.5m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不
明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市
文化財協会1998 [備]俗称イズミヅカ。自然石露出。

林添1号墳(587) はやしぞえ1ごうふん [群]中依知古墳群
[原-x]・〈E-37〉・(依知地区40号墳)

[所]厚木市中依知字林添19付近 [立]段丘端 [形]円墳 [周]有り [規]径約
16m [埋]横穴式石室(長約5m) [副]勾玉, 管玉, 切子玉, 丸玉, 小玉, 耳
鐙, 直刀5, 短刀1, 刀子5, 鉄鏃群, 朱 [伴]不明 [埴]不明 [時]後期~終
末期 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市市史編さ
ん室1993 [備]埋葬5体。直刀4は奥壁に立て掛けた状態で出土。奥壁大形石材
二段積。他の構造不詳。上依知古墳群に先行する石室構造か。

上原3号墳(588) うえはら3ごうふん [群]中依知古墳群
[原-w]・〈E-38〉・(依知地区41号墳)

[所]厚木市中依知字林添19~上原64付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明
[規]径(9.0×6.0m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化

財協会1998林原利明2004, 迫和幸ほか2012 [備]自然石多数露頭.

古墳* (589) こふん [群]中依知古墳群

[原-v]・〈E-39〉・(依知地区42号墳)

[所]厚木市中依知字林添21付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(5.4×2.0m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市
文化財協会1998 [備]自然石多数露出.

古墳* (590) こふん [群]中依知古墳群

[原-u]・〈E-116〉・(依知地区43号墳)

[所]厚木市中依知字林添29付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(3.2×3.0m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]
不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協
会1998 [備]未調査のまま宅地造成により湮滅.

古墳* (591) こふん [群]中依知古墳群

[原-t]・〈E-40〉・(依知地区45号墳)

[所]厚木市中依知字林添30付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(5.2×3.3m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]
不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協
会1998 [備]消滅.

古墳* (592) こふん [群]中依知古墳群

[原-s]・〈E-41〉・(依知地区46号墳)

[所]厚木市中依知字林添31付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径
(9.0×3.3m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会19
98 [備]道路により一部破壊. 大形含む自然石多数露出.

古墳* (593) こふん [群]中依知古墳群

[原-ト]・(依知地区47号墳)

[所]厚木市中依知字林添32付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径
(6.8×5.3m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]
不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]宅地造成で
湮滅.

古墳* (594) こふん [群]中依知古墳群

(依知地区48号墳)

[所]厚木市中依知字林添32付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(6.4×4.2m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明

[文]厚木市文化財協会1998 [備]俗称チエンヅカ。頂部に石碑。自然石露出。

古墳* (595) こふん [群]中依知古墳群

[原-a]・(依知地区49号墳)

[所]厚木市中依知字林添32付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(4.2×3.5m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]

古墳* (596) こふん [群]中依知古墳群

[原-p]・(依知地区50号墳)

[所]厚木市中依知字林添34付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(3.5×2.0m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]全面に多量の自然石露出。

古墳* (597) こふん [群]中依知古墳群

[原-n]・<E-42>・(依知地区51号墳)

[所]厚木市中依知字上原48付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(10.5×4.6m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]多量の自然石露出。

上原1号墳 (598) うえはら1ごうふん [群]中依知古墳群

[原-k]・<E-44>・(依知地区52号墳)

[所]厚木市中依知字上原48付近 [立]段丘端 [形]円墳 [周]有り [規]径20m [埋]横穴式石室(長約5m) [副]勾玉, 管玉, 切子玉, 水晶製平玉, 丸玉, 小玉, 耳環, 直刀5, 鉄鏃, 刀子4 [伴]土師器片・須恵器坏(羨門) [埴]無し [時]終末期 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1974, 厚木市教育委員会1976, 厚木市市史編さん室1993, 厚木市文化財協会1998 [備]1973年発掘調査。須恵器坏はTK217型式並行期。奥壁4段積, 両側小石積み上げ, 側壁すべて小形河原石積み。羨門部大形石材使用せず。前庭部構造不明。無窓鏝付直刀3は奥壁に立て掛けた状態で出土。

古墳* (599) こふん [群]中依知古墳群

[原-m]・<E-43>・(依知地区53号墳)

[所]厚木市中依知字上原50付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(9.5×5.4m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]自然石露出。

古墳* (600) こふん [群]中依知古墳群

[原-j]・〈E-45〉・(依知地区54号墳)

[所]厚木市中依知字上原47付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(7.0×5.3m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]東側に自然石露出.

古墳* (601) こふん [群]中依知古墳群

[原-1]・(依知地区55号墳)

[所]厚木市中依知字上原 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(8.0×4.0m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]消滅?. 厚木市文化財協会1998では確認されず.

上原2号墳(602) うえはら2ごうふん [群]中依知古墳群

[原-i]・〈E-46〉・(依知地区56号墳)

[所]厚木市中依知字中原188 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(6.0×4.8m[1960年当時]) [埋]無袖横穴式石室(長4.5m) [副]切子玉, 小玉, 耳環, 鉄鏃群, 刀子, 叉状鉄器 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1974, 厚木市教育委員会1976, 厚木市市史編さん室1993, 厚木市文化財協会1998 [備]1973年市教委発掘調査. 側壁の腰石のみやや大形の石材を使用. その上は小形河原石積み. 羨門部側壁はやや大形の河原石を積み上げている.

古墳* (603) こふん [群]中依知古墳群

[原-h]・〈E-48〉・(依知地区57号墳)

[所]厚木市中依知字御岳187付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(6.0×6.0m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]1975年以降に消滅.

中原1号墳(旧上原3号墳)(604) なかはら1ごうふん(きゅううえはら3ごうふん) [群]中依知古墳群

[原-g]・〈E-49〉・(依知地区58号墳)

[所]厚木市中依知字中原192付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]有り [規]径約16m [埋]左片袖(?)横穴式石室(長約6m) [副]勾玉4, 管玉2, 切子玉3, 丸玉・白玉・小玉, 耳環4, 直刀6, 鉄鏃20, 鉾1, 刀子5 [伴]不明 [埴]無し [時]後期末~終末期 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1974, 厚木市教育委員会1976, 厚木市市史編さん室1993, 厚木市文化財協会19

98 [備]1977年市教委発掘調査。左側壁にわずかな袖の痕跡？がみられる。奥壁は大形石材2段積み。玄室平面形は奥壁側がわずかに広い台形(ほぼ長方形)。直刀2は奥壁に立て掛けた状態で出土。

古墳* (605) こふん [群]中依知古墳群

[原-d]・〈E-47〉・(依知地区59号墳)

[所]厚木市中依知字御岳188付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(3.0×3.0m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]市教委1976では消滅となっているが, 一部残存。自然石多数露出。

古墳* (606) こふん [群]中依知古墳群

[原-E]・〈E-50〉・(依知地区61号墳)

[所]厚木市中依知字御岳195付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(6.7×3.2m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]鉄鏃? [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]市教委1976には鉄鏃出土とある。自然石多数露出。

古墳* (607) こふん [群]中依知古墳群

(依知地区63号墳)

[所]厚木市中依知字御岳229付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(5.5×4.8m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会1998 [備]大形含む多数の自然石露出。

古墳* (608) こふん [群]中依知古墳群

(依知地区64号墳)

[所]厚木市中依知字御岳228付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(6.7×2.9m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会1998 [備]大形含む多数の自然石露出。

古墳* (609) こふん [群]中依知古墳群

(依知地区65号墳)

[所]厚木市中依知字御岳228付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(6.6×5.5m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会1998 [備]大形含む多数の自然石露出。

古墳* (610) こふん [群]中依知古墳群

〈E-52〉・(依知地区66号墳)

[所]厚木市中依知字中原 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(7.5×

6.8m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]
厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]西側は道路によって一部
削平. 自然石露出.

古墳* (611) こふん [群]中依知古墳群

<E-53>・(依知地区67号墳)

[所]厚木市中依知字中原200付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(10.0×4.8m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]
厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]俗称平塚(新編相模風土
記稿).

古墳* (612) こふん [群]中依知古墳群

[道満-i]・(依知地区68号墳)

[所]厚木市中依知字中原224付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]
径(5.8×5.5m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 熊坂直美1963, 寺田進1966, 厚木市
市史編さん室1993, 文化財協会1998 [備]自然石多数露出.

古墳* (613) こふん [群]中依知古墳群

[道満-H]・<E-54>・(依知地区69号墳)

[所]厚木市中依知字御岳205付近 [立]段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]
径(10.4×7.1m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]須恵器甕片採集 [埴]
不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 熊坂直美1963, 寺田進1966,
厚木市市史編さん室1993, 文化財協会1998 [備]俗称平塚(新編相模風土
記稿). 自然石多数露出.

古墳* (614) こふん [群]中依知古墳群

[原-f]・<E-56>・(依知地区70号墳)

[所]厚木市中依知字天神425付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(6.2×4.8m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]
不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 熊坂直美1963, 厚木市教育委員会1976,
厚木市文化財協会1998 [備]消滅. 聞き取りによれば, 塚と呼ばれていたが掘
ったら何も出なかったので宅地にしたと伝える.

中依知天神1号墳 (615) なかえちてんじん1ごうふん [群]中依知古墳群

[道満-g]・<E-55>・(依知地区72号墳)

[所]厚木市中依知字天神320付近 [立]段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径
(6.2×5.7m[1960年当時]) [埋]横穴式石室 [副]不明 [伴]土師器片・須恵
器片(墳丘表土内) [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木
市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998, 野口浩史2004 [備]周囲はブロッ

クで囲まれている。2002年に石室のみ調査(西側側壁のみ検出)。石室内からの出土遺物なし。

古墳* (616) こふん [群]中依知古墳群
(依知地区73号墳)

[所]厚木市中依知字御岳252付近 [立]段丘裾 [形]円墳または前方後円墳
[周]不明 [規]径(15.5×7.0m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木市文化財協会1998 [備]自然石露出。

古墳* (617) こふん [群]桜樹古墳群
[中依知-x]・<E-59>・(依知地区74号墳)
[所]厚木市中依知字桜樹639付近 [立]下段段丘端 [形]円墳? [周]不明
[規]径(6.5×6.0m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明
[埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976,
厚木市文化財協会1998 [備]頂部に祠。大形を含む多数の自然石露出。

古墳* (618) こふん [群]桜樹古墳群
[中依知-v]・<E-61>・(依知地区75号墳)
[所]厚木市中依知字桜樹636付近 [立]下段段丘端 [形]円墳? [周]不明
[規]径(7.5×6.5m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]頂部に祠。自然石わずかに露出。

桜樹所在古墳 (619) さくらぎしよざいこふん [群]桜樹古墳群
[中依知-w]・<E-60>・(依知地区76号墳)
[所]厚木市中依知字桜樹635付近 [立]下段段丘端 [形]円墳? [周]不明
[規]径(6.5×6.4m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]須恵器
提瓶・細頸壺採集 [埴]不明 [時]終末期 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市史編纂委員会1973, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998, 厚木市市史編さん室1998 [備]厚木高校歴史研究部須恵器3個(TK209~217型式並行期)採集。大形含む多数の自然石露出。

古墳* (620) こふん [群]桜樹古墳群
(依知地区77号墳)
[所]厚木市中依知字桜樹644付近 [立]下段段丘端 [形]円墳? [周]不明
[規]径(7.5×5.3m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]現状で墳丘面に石材はみられないが, 厚木高校1960の中依知-t (6.5×5.0m, 大小さまざまな石が露出)と同一か。

古墳* (621) こふん [群]桜樹古墳群

[中依知-u]・(依知地区78号墳)

[所]厚木市中依知字桜樹573付近 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明
[規]径(3.0×2.5m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]墳丘
の高まりはほとんどみられない。

古墳*(622) こふん [群]桜樹古墳群

(依知地区79号墳)

[所]厚木市中依知字桜樹569付近 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明
[規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高
校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]現状で明確な墳丘の高まりは
みられず河原石が散乱するのみであるが, 厚木高校1960の中依知-s(3.0×3.
0×1.0m)と同一と思われる。

桜樹古墳(623) さくらぎこふん [群]桜樹古墳群

[中依知-r]・〈E-62〉・(依知地区80号墳)

[所]厚木市中依知字桜樹585付近 [立]下段段丘端 [形]円墳 [周]有り
[規]径(14.1×13.7m[1960年当時]) [埋]横穴式石室(長6.9m) [副]勾玉16,
切子玉1, 管玉3, ガラス小玉370, 銅釧4, 直刀4, 鉄鏃30 [伴]不明 [埴]不
明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 鈴木茂1962, 厚木市文化財協会
1998 [備]現存。1957年耕作中羨門露出のため地主発掘。河原石積み石室。小
玉若干・直刀・鏃を残し再埋没とされる。

古墳*(624) こふん [群]桜樹古墳群

[中依知-Q](依知地区81号墳)

[所]厚木市中依知字桜樹 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(3.0
×2.0m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]厚木高
校1960には「石だけが積み上げられている」とされるが, 現在確認できない。

古墳*(625) こふん [群]桜樹古墳群

[中依知-O]・〈E-63〉・(依知地区82号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ前549付近 [立]下段段丘端 [形]円墳? [周]不明
[規]径(8.5×1.0m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明
[埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976,
厚木市文化財協会1998 [備]大形の自然石露出。

桜樹古墳群1号墳(626) さくらぎこふんぐん1ごうふん [群]桜樹古墳群

[中依知-i]・〈E-66〉・(依知地区86号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ前525付近 [立]下段段丘端 [形]円墳 [周]有り

[規]径16.4×14.95m [埋]狭長無袖横穴式石室(長5.6m) [副]碧玉製管玉8, ガラス製小玉23, 土玉15, 直刀1, 刀装具(無窓鏢・はばき・責金具・鞘尻), 刀子3, 鉄鏃1 [伴]土師器甕・坏・環状取手付提瓶模倣壺(周溝内) 須恵器提瓶片(墳丘) [埴]無し [時]終末期 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998, 植山英史ほか2007 [備]

桜樹古墳群 2号墳 (627) さくらぎこふんぐん 2 とうふん [群]桜樹古墳群
[中依知-k]・〈E-65〉・(依知地区85号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ前525付近 [立]下段段丘端 [形]円墳 [周]有り
[規]径15.6×14.25m [埋]狭長無袖横穴式石室(長6.35m) [副]ガラス製小玉1, 土玉3, 鉄製耳環2, 鉛製耳環2, 直刀4, 小刀2, 刀子8以上, 銀製刀装具, 鉄鏃30以上, 両頭金具1 [伴]土師器坏5以上・広口壺, 須恵器広口壺・甕・提瓶(周溝内) [埴]無し [時]終末期 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998, 植山英史ほか2007 [備]

桜樹古墳群 3号墳 (628) さくらぎこふんぐん 3 とうふん [群]桜樹古墳群
[中依知-n]・〈E-64〉・(依知地区83号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ前545付近 [立]下段段丘端 [形]円墳 [周]有り
[規]径15.6m [埋]狭長無袖横穴式石室 [副]瑪瑙製勾玉2, 水晶製切子玉2, 琥珀製棗玉2, 滑石製丸玉2, ガラス製小玉77, 金銅製耳環6, 直刀2, 無窓鏢2, はばき, 責金具, 鉄鏃18以上, 両頭金具10, 刀子, 馬具(鉸具・辻金具・帯金具) [伴]土師器坏片(周溝内) [埴]無し [時]終末期初頭 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998, 植山英史ほか2007 [備]

桜樹古墳群 4号墳 (629) さくらぎこふんぐん 4 とうふん [群]桜樹古墳群
[中依知-m]・(依知地区84号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰456付近 [立]下段段丘端 [形]円墳 [周]有り
[規]径15.1×14.4m [埋]狭長無袖横穴式石室 [副]滑石製管玉1, ガラス製小玉47, 鉄製耳環1, 直刀3, 小刀1, 刀子, 鉄鏃20以上, 両頭金具1 [伴]土師器短頸壺・壺, 須恵器提瓶・壺・甕(周溝・墳丘上) [埴]無し [時]終末期 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998, 植山英史ほか2007 [備]

桜樹古墳群 5号墳 (630) さくらぎこふんぐん 5 とうふん [群]桜樹古墳群
[中依知-m]・(依知地区98号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰 [立]下段段丘端 [形]円墳 [周]有り [規]径15.2×14.4m [埋]狭長無袖横穴式石室(長4.6m) [副]金銅製耳環1, 直刀1, 刀子2, 鉄鏃3 [伴]土師器有段坏・比企型坏・甕, 須恵器坏・長頸壺・提瓶・

甕(周溝・墳丘上) [埴]無し [時]終末期 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998, 植山英史ほか2007 [備]

桜樹古墳群 6号墳 (631) さくらぎこふんぐん 6 ごうふん [群]桜樹古墳群
[中依知-j]・<E-67>・(依知地区87号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰466付近 [立]下段段丘端 [形]円墳 [周]有り
[規]推定径13.0~13.5m [埋]不明 [副]不明 [伴]須恵器提瓶片(周溝内)
[埴]無し [時]終末期 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998, 植山英史ほか2007 [備]周溝北側の一部を検出.

桜樹古墳群 7号墳 (632) さくらぎこふんぐん 7 ごうふん [群]桜樹古墳群
[中依知-p]・(依知地区97号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰 [立]下段段丘上 [形]円墳 [周]有り [規]径12.5~13.0m [埋]狭長無袖横穴式石室 [副]不明 [伴]土師器坏・甕(周溝内) [埴]無し [時]終末期 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998, 植山英史ほか2007 [備]周溝の南側を検出.

桜樹古墳群 8号墳 (633) さくらぎこふんぐん 8 ごうふん [群]桜樹古墳群
[所]厚木市中依知字宮ノ前 [立]下段段丘端 [形]円墳 [周]有り [規]径16.8m [埋]不明 [副]不明 [伴]土師器片, 須恵器片(周溝内) [埴]無し
[時]終末期 [文]植山英史ほか2007 [備]周溝北側の一部を検出.

古墳* (634) こふん [群]桜樹古墳群
<E-68>・(依知地区88号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰468付近 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明
[規]径(4.0×2.9m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明
[時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]わずかな高まりのみ. 厚木高校1960には崩壊マークのみ記載.

古墳* (635) こふん [群]桜樹古墳群
[中依知-g]・(依知地区89号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰491付近 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明
[規]径(3.0×3.0m[1960年当時]) [埋]横穴式石室 [副]不明 [伴]不明
[埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998
[備]石室の一部露出.

古墳* (636) こふん [群]桜樹古墳群
[中依知-e]・(依知地区90号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰491付近 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明
[規]径(5.0×3.0m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明

[時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]河原石露出.

古墳* (637) こふん [群]桜樹古墳群

[中依知-h]・(依知地区91号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(6.0×4.0m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]未調査のまま消滅か.

古墳* (638) こふん [群]桜樹古墳群

[中依知-a]・(依知地区92号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(3.3×3.2m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]未調査のまま消滅.

古墳* (639) こふん [群]桜樹古墳群

[中依知-d]・〈E-69〉・(依知地区93号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰477付近 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(6.2×5.8m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]礫が多量に露出.

古墳* (640) こふん [群]桜樹古墳群

[中依知-c]・〈E-70〉・(依知地区94号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰477付近 [立]下段段丘端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(6.0×4.2m[1960年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]人頭大の河原石露出.

古墳* (641) こふん [群]桜樹古墳群

[中依知-b]・〈E-71〉・(依知地区95号墳)

[所]厚木市中依知字宮ノ腰479付近 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]径(5.6×1.0m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市教育委員会1976, 厚木市文化財協会1998 [備]石室の一部かと思われる大形の河原石露出.

古墳* (642) こふん [群]桜樹古墳群

[中依知-f]・(依知地区96号墳)

[所]厚木市中依知 [立]下段段丘上 [形]不明 [周]不明 [規]径(7.0×6.0

m[1960年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部1960, 厚木市文化財協会1998 [備]未調査のまま消滅.

稲荷山第1号墳 (643) いなりやまだい1ごうふん [群]稲荷山古墳群
(依知地区99号墳)

[所]厚木市下依知字仲道214 [立]下段段丘端 [形]円墳 [周]有り [規]径35~40m [埋]不明 [副]不明 [伴]土師器壺3・高坏2・鉢3(周溝内) [埴]不明 [時]中期 [文]稲荷山第1号古墳調査団1988・1989, 厚木市市史編さん室1993, 厚木市文化財協会1998 [備]1919年の横須賀水道工事により墳丘の西半が削平されたが, その際に出土したとされる直刀が浅間神社に奉納されていると伝えられている. 1987~1989年にかけて発掘調査. 本墳出土とされる飛禽鏡が厚木市教育委員会に所蔵されているが, 伝来等の詳細は不明.

稲荷山第2号墳 (644) いなりやまだい2ごうふん [群]稲荷山古墳群
(依知地区100号墳)

[所]厚木市下依知字稲荷上 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]稲荷山第1号古墳調査団1988, 厚木市市史編さん室1993, 厚木市文化財協会1998 [備]付近で埴輪片採集. 詳細不明.

稲荷山第3号墳 (645) いなりやまだい3ごうふん [群]稲荷山古墳群
(依知地区101号墳)

[所]厚木市下依知字稲荷上 [立]下段段丘端 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]稲荷山第1号古墳調査団1988, 厚木市市史編さん室1993, 厚木市文化財協会1998 [備]詳細不明.

引用・参考文献

石野 瑛 1926「中郡成瀬村の古墳と横穴」『武相考古』
神奈川県立厚木高校歴史研究部 1960『厚木市依知地区南部古墳分布図』
鈴木 茂 1962「厚木市中依知桜樹古墳調査報告」『厚木市文化財調査報告』3
熊坂 直美 1963「依知の古墳について」『歴史研究』8 厚木高校歴史研究部
寺田 進 1966「厚木市金田字道満東亜工機株式会社敷地内の遺跡発掘状況報告」『厚木市文化財調査報告書』4
神奈川県立厚木高校歴史研究部 1967b「愛甲

堂山古墳の発掘」『歴史研究』12
井上 隆之 1971「埋蔵文化財の調査変遷と玉川流域の遺跡分布」『厚木市資料調査報告書』厚木市史編纂委員会
厚木市史編纂委員会 1973「依知地区古墳出土遺物」『厚木市史史料集』3 考古編樋口清之ほか 1974「神奈川県岡津古久遺跡の調査」『考古学ジャーナル』102
厚木市教育委員会 1974『社会教育要覧』
厚木市教育委員会 1976『埋蔵文化財分布状況調査』厚木市文化財調査報告書18
神奈川県教育委員会 1977『当麻遺跡・上依知

- 遺跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告12
 川西宏幸 1978「円筒埴輪総論」『考古学雑誌』64-2
 神奈川県 1979『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
 田辺昭三 1981『須恵器大成』角川書店
 久保哲三ほか 1983「古墳測量調査報告」『専修史学』15
 望月幹夫 1987「古墳時代における地域社会の
 一様相」『東京国立博物館紀要』22-1
 浅川利一ほか 1988「厚木市宮の里遺跡の調査」
 『第12回神奈川県遺跡調査・研究発表会発表
 要旨』
 厚木市下依知稲荷山第1号古墳調査団 1988
 『稲荷山第1号古墳』
 厚木市下依知稲荷山第1号古墳調査団 1989
 『稲荷山第1号古墳』第2次調査報告書
 江藤昭ほか 1989『愛甲宿遺跡』
 厚木市秘書部市史編さん室 1993『厚木市史』
 古代資料編1
 温水高坪遺跡調査団 1996『神奈川県厚木市温
 水高坪遺跡群』
 西川修一ほか 1998『御屋敷添遺跡 第3地点(No.
 1) 第4地点(No.2) 第5地点(No.44) 高森・一ノ
 崎遺跡(No.37) 高森・窪谷遺跡(No.3)』かなが
 わ考古学財団調査報告33
 厚木市教育委員会 1998『南毛利の遺跡展』
 瀬田哲夫 1998『厚木市川田前遺跡』
 厚木市秘書部市史編さん室編 1998『厚木市史』
 古代資料編2
 厚木市文化財協会 1998『厚木の古墳』厚木市
 文化財調査報告書38
 立花実 1998「西相模の古墳」『考古学入門講
 座 神奈川の古墳—その出現と展開—』神奈
 川県考古学会
 平本元一 1999「厚木ホウダイヤマ遺跡」『第2
 3回神奈川県遺跡調査・研究発表会発表要旨』
 神奈川県考古学会
 迫和幸ほか 2003『温水長久保遺跡群発掘調査
 報告書』厚木市教育委員会
 野口浩史 2004「中依知天神1号墳」『平成14
 年度厚木市文化財年報 第2号』厚木市教育委
 員会
 林原利明 2004『中依知上原遺跡—厚木市中依
 知字上原64-2における住宅建設にともなう発
 掘調査』西湘文化財研究所
 迫和幸ほか 2005『宮の里遺跡発掘調査報告書』
 厚木市教育委員会
 植山英史ほか 2007『中依知遺跡群 宮ノ越・
 宮ノ前遺跡 桜樹古墳群 中林横穴墓群 (第
 2分冊 縄文～奈良・平安時代)』かながわ考
 古学財団調査報告205
 迫和幸ほか 2012『中依知上原遺跡第2地点発
 掘調査報告書』玉川文化財研究所